

※新型コロナウイルス対策のもとで開催します。中止があり得ます。

- ・定員は 40 名とし、先着順のもと個人会員と特別会員（1 名／社）から受講者を募集します。ただし、特別会員を優先して受け付けます。
- ・越境に関する行政・世論の懸念が深刻の場合、受講者の所在地に制限を設けさせていただくことがあります。
- ・発熱や風邪の症状が認められる場合、参加をご遠慮ください。
- ・マスクを着用し、手洗い、咳エチケットにご留意ください。
- ・入口にアルコール消毒液を準備しますので、ご利用ください。
- ・換気のため、会場の出入口や窓は常時開放します。
- ・後日、会員限定のもと当日のビデオ撮影版を配信します。

令和 2 年 6 月 29 日

各 位

軟弱地盤研究会（第 159 回）のご案内

軟弱地盤研究会
会長 日野剛徳

日 時：令和 2 年 7 月 29 日（水）14 時～16 時

場 所：建設業協会佐賀 2 階会議室（佐賀市兵庫南 2-13-15 電話 0952-24-2711）

話 題：阪神高速のシールドトンネルにおける断層運動に対する検討事例

講演者：阪神高速道路(株) 建設事業本部 大阪建設部 設計課 設計総括課長 志村 敦 氏

概 要：講師から下記の概要をいただきました。

阪神高速では構造物の多くが橋梁形式となっているが、近年は都市部においても、土地利用や環境保全の観点から開削工法やシールド工法のトンネル構造が採用されてきている。

このうち、シールドトンネルは京都線（稲荷山トンネル）および大和川線において採用、また淀川左岸線延伸部において計画されているが、いずれの路線についても、直交する活断層の存在が確認されている。今回阪神高速のシールドトンネルにおける断層運動に対する検討事例を中心に報告する。

※参加希望の方は必ず事前にメールまたは FAX でご連絡ください。当日の申込みはできるだけご遠慮ください。

※参加費：当研究会の個人会員および特別会員は参加費無料。それ以外の方は資料代（¥1,000）が必要です。

※参加証明書は研究会終了後に受付にて必要な方に配布します。

軟弱地盤研究会事務局

担当：喜連川 聰容（Kirekawa Toshihiro）

E-mail: asgt@sagacat.or.jp

URL: <https://www.sagacat.or.jp/asgt/index.html>

Tel:0952-26-1668/Fax:0952-26-1669

〒840-0857 佐賀市鍋島町大字八戸 3182

（公財）佐賀県建設技術支援機構内